

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	②	職員の配置数は適切であるか		33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善目標：具体的に最低2人は人が欲しい。工夫している点：可能であれば同時対応をするなどしている。</li> <li>利用したい人数と、対応できる職員の人数に差がある。</li> <li>届け出上は問題ないが、問い合わせに応えるには人数不足を感じることもある。</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33.3%	33.3%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が2階であり、夜は階段が見えにくいかもしれないため、電灯のスイッチの場所などを明確にしたい。身体が不自由な児童の問い合わせが来た場合は、対応は要検討したい。</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	33.3%	66.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援については、モニタリングを実施し対応できているが、その他の業務については意識づけはできていると思う。</li> </ul>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	33.3%	66.7%		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	66.7%	33.3%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、A型事業所にて実施された。</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	66.7%	33.3%		
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>見学の時点である程度の情報を仕入れ、体験対応する職員にフィードバックすることで完全にサラの状態からの対応になることを防いでいる。</li> <li>1回のアセスメントで適切に分析できているかわからない。特に子供のニーズ。</li> </ul>
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33.3%	66.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>あるのかもしれないが、それがアセスメントツールと認識していないかも。</li> </ul>
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>担当を完全に固定にはしていない</li> <li>個別対応のため、基本は担当者に委ねられる。困った際に周囲や会議で相談できている。</li> </ul>
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>ルーティン化することが必要なこともあるので、一概に固定化が悪いとは言えない。</li> </ul>
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等は実施していない。卒業が近い児童に対しては課題を設定している。</li> </ul>

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	33.3%		66.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別対応が主であり、自由時間に他の児童と関わりがあれば、コミュニケーションを図る機会として介入する。</li> </ul>	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者が来る前に、支援内容だけでなく声の大きさ等を考慮し席割りも相談している。</li> <li>● 利用人数やイレギュラーな予定が入っている場合は情報共有をする。</li> </ul>	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	66.7%		33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今日の感想を言い合うことで、自らのフィードバックにもなり新しい気付きもあるので、なるべく話しやすい環境を作っている。</li> <li>● 営業終了時間と退勤時間が一緒のためできない。</li> </ul>	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰が読んでも理解ができ、憶測で記録を書かないよう心掛けている。</li> <li>● 書き方の周知はされているが、記録と保護者報告が一緒のため、書き方はここに任されている。</li> </ul>	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	66.7%	33.3%			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	33.3%	66.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● アセスメントによる個別支援計画書に基づいているため、個々で異なる。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.7%	33.3%			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出席扱いになる児童が在籍する学校とのやりとりや、相談支援専門員を経由して把握する。</li> </ul>	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● そういった児童の利用がない。</li> </ul>
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要性を感じるが実現していない。相談支援専門員を通して知ることもある。</li> </ul>
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● まだそういった児童がいない。</li> </ul>
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33.3%	66.7%			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別活動がメインであるため、あまり他者とかわる機会がない。</li> </ul>	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後集まりがあれば参加する予定である。</li> </ul>	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● メールでの活動報告だけでなく、迎えの際にもお話をすることで家での様子やこちらでの取り組み方を共有しています。</li> </ul>
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修を受けているが、実践できていない。モニタリングや普段のやり取りの中で子育てに関する内容は聞き取り、その都度助言できるものや調べて伝えられることは情報提供している。</li> </ul>
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	33.3%	66.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● もう少し分かりやすい説明の仕方を目指したい。</li> </ul>
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	33.3%	66.7%		
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 要望が特にないため。</li> </ul>
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	66.7%	33.3%		
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	66.7%	33.3%		
	㉗	個人情報に十分注意しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人名を報告メールで書かないよう気を付けている。</li> </ul>
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 口で説明するのではなく、見える化できるよう取り組んでいる。</li> <li>● 口頭だけでなく、視覚的に示すこともしている。</li> </ul>
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 看板等で存在を地域に根付いたものにできればと思う。</li> <li>● 行事を行っていないため実現できていない。</li> </ul>
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	33.3%	66.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見える場所に掲示している。</li> <li>● 本社で作成しているものを、常備し職員に共有できるようにしたい。</li> </ul>
非常時等の対応	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別での利用のため、訓練の実施が難しい。よって、避難場所の掲示などはできている。</li> </ul>
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動画視聴を促している。</li> </ul>
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身体拘束については研修を受けているが、それを必要とする児童がいらないため盛り込んでいない。</li> </ul>
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● おやつを提供がないため、食物アレルギーの対応はしていない。</li> </ul>
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議などで全体で共有し、防止措置など検討している。</li> </ul>

